

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		長崎大学		設置者名		国立大学法人長崎大学			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況(平成26年度)				
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数	
						実数	個別		
多文化社会学部	多文化社会学科	100人	高一種免(英語)	平成27年度	-	-	-	-	
教育学部	学校教育教員養成課程	240人	小一種免	平成10年度	235人	235人	156人	118人	
			中一種免(国語)	平成10年度			20人		
			中一種免(社会)	平成10年度			21人		
			中一種免(数学)	平成10年度			20人		
			中一種免(理科)	平成10年度			15人		
			中一種免(音楽)	平成10年度			9人		
			中一種免(美術)	平成10年度			5人		
			中一種免(保健体育)	平成10年度			12人		
			中一種免(技術)	平成10年度			3人		
			中一種免(家庭)	平成10年度			5人		
			中一種免(英語)	平成10年度			12人		
			高一種免(国語)	平成10年度			15人		
			高一種免(地理歴史)	平成10年度			17人		
			高一種免(公民)	平成10年度			10人		
			高一種免(数学)	平成10年度			20人		
			高一種免(理科)	平成10年度			15人		
			高一種免(音楽)	平成10年度			9人		
			高一種免(美術)	平成10年度			5人		
			高一種免(書道)	平成10年度			6人		
			高一種免(保健体育)	平成10年度			12人		
			高一種免(家庭)	平成10年度			4人		
高一種免(工業)	平成10年度	1人							
高一種免(情報)	平成13年度	3人							
高一種免(英語)	平成10年度	12人							
特支一種免(知・肢・病)	平成19年度	65人							
幼一種免	平成10年度	63人							
経済学部	総合経済学科	325人	高一種免(商業)	平成10年度	396人	11人	11人	4人	
工学部	工学科	380人	高一種免(数学)	平成23年度	401人	10人	0人	0人	
			高一種免(理科)	平成23年度			9人		
			高一種免(工業)	平成23年度			1人		
水産学部	水産学科	110人	高一種免(理科)	平成2年度	117人	7人	6人	1人	
			高一種免(水産)	平成2年度			2人		
入学定員合計		1,155人	合計		1,149人	263人	564人	123人	
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成27年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。								

大学名		長崎大学(大学院)		設置者名		国立大学法人長崎大学			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況(平成26年度)				
研究科	専攻等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数	
						実数	個別		
教育学研究科	教科実践専攻	-	小専免	平成20年度	13人	9人	2人	7人	
			中専免(国語)	平成20年度			2人		
			中専免(社会)	平成20年度			0人		
			中専免(数学)	平成20年度			2人		
			中専免(音楽)	平成20年度			2人		
			中専免(美術)	平成20年度			1人		
			中専免(保健体育)	平成20年度			0人		
			中専免(技術)	平成20年度			1人		
			中専免(家庭)	平成20年度			1人		
			高専免(国語)	平成20年度			2人		
			高専免(地理歴史)	平成20年度			0人		
			高専免(公民)	平成20年度			0人		
			高専免(数学)	平成20年度			2人		
			高専免(音楽)	平成20年度			2人		
			高専免(美術)	平成20年度			1人		
			高専免(書道)	平成20年度			0人		
			高専免(保健体育)	平成20年度			0人		
			高専免(家庭)	平成20年度			1人		
	高専免(工業)	平成20年度	0人						
	幼専免	平成20年度	0人						
	教科実践専攻	38人	-	小専免	平成26年度	17人	17人	10人	8人
				中専免(国語)	平成26年度			1人	
				中専免(社会)	平成26年度			2人	
				中専免(数学)	平成26年度			0人	
				中専免(理科)	平成26年度			0人	
				中専免(音楽)	平成26年度			0人	
				中専免(美術)	平成26年度			0人	
				中専免(保健体育)	平成26年度			0人	
				中専免(技術)	平成26年度			0人	
				中専免(家庭)	平成26年度			0人	
				中専免(英語)	平成26年度			5人	
				高専免(国語)	平成26年度			2人	
				高専免(地理歴史)	平成26年度			1人	
				高専免(公民)	平成26年度			2人	
高専免(数学)				平成26年度	0人				
高専免(理科)				平成26年度	0人				
高専免(音楽)				平成26年度	0人				
高専免(美術)				平成26年度	0人				
高専免(書道)				平成26年度	0人				
高専免(保健体育)				平成26年度	0人				
高専免(家庭)				平成26年度	0人				
高専免(情報)				平成26年度	0人				
高専免(工業)				平成26年度	0人				
高専免(英語)				平成26年度	5人				
特支専免(知・肢・病)				平成26年度	2人				
幼専免				平成26年度	0人				

大学名	長崎大学(大学院)続き			設置者名	国立大学法人長崎大学			
研究科	専攻等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
						実数	個別	
経済学研究科	経済経営政策専攻	15人	高専免(商業)	平成7年度	8人	0人	0人	0人
工学研究科	総合工学専攻	220人	高専免(工業)	平成23年度	200人	31人	31人	1人
水産・環境科学総合研究科	水産学専攻	35人	高専免(水産)	平成23年度	28人	1人	1人	0人
入学定員合計		308人	合計		266人	58人	81人	16人
備考	<p>・「学部・学科等の名称等」欄は、平成27年4月1日現在の名称・定員である。</p> <p>・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。</p> <p>・教育学研究科は平成26年度に教科実践専攻を廃止し、教職実践専攻の改組を行った。</p>							

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成27年10月19日（月）

実地視察大学：長崎大学

実地視察委員：野崎武司委員，一木薫委員

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等について，教職課程認定基準等の観点ではおおむね問題無く実施されているものの，一部では是正すべき点も確認された。今後教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。
- 教育課程について，「2.」で指摘するように，教職課程認定基準等の観点からは是正すべき点の確認されたため，その点については，速やかに是正すること。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 「地域密着型を目指す大学として，地域の教員養成機能の中心的役割を担うとともに，長崎県における教育研究や社会貢献活動等を通じて，我が国の教育の発展・向上に寄与することを基本的な目標とする。」という教員養成に対する理念・構想を示しているが，それを具現化するための教職課程に対する全学的な組織，教育課程及び教員組織をより一層充実させるように努めていただきたい。
- 教職課程は，教員免許状という資格を授与するための課程であることに鑑み，授業内容の扱いについて，各学部完全に委ねるのではなく，教職に関する全学組織で定められた教育課程の編成方針のもと，その内容の点検・検討ができるような体制・仕組みの構築が必要であるため，今後御検討いただきたい。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目），履修方法及びシラバスの状況

- 教職全般の科目について，科目名称，内容，位置付けの見直しが必要な科目が見受けられた。全学的に整理と検討を行うこと。
また，「教職に関する科目」については，教育職員免許法施行規則第6条第1項表に定める「含めることが必要な事項」が含まれているか否か，シラバスからは判断できない授業科目があるため，法令で扱うこととしている内容は必ず扱うように，内容を再度検討すること。なお，各科目の指導法のうち，一部科目においてテキスト又は参考資料として学習指導要領及び認定こども園教育・保育要領を含めていない授業科目があるため，該当する授業科目のシラバスを見直すこと。
- 認定を受けようとする課程の担当教員のうち専任教員は，当該課程を有する学科等に籍を有する者でなければならない。教育学部の一部の教職課程について，専任教員数が不足しているように見受けられた。確認の上，速やかに是正するとともに，教職課程認定基準に定める必要専任教員を配置すること。

3. 教育実習の取組状況

- 教育学部以外の教育実習について、大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、遠隔地の学校や学生の母校における実習ではなく、可能な限り大学が所在する近隣の学校において実習校を確保することが望ましい。今後、地元教育委員会や学校との連携を進め、近隣の学校における実習先の確保に努めていただきたい。なお、やむを得ず遠隔地の学校や学生の母校における実習を行う場合においても、実習先の学校と連携し、大学が教育実習に関わる体制を構築するとともに、学生への適切な指導、公正な評価となるよう努めていただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 学生への教職指導について、教育学部では、1年生から教職経験者などを活用した教職アドバイザーのいる教職連携室で面談を行っていることや、教職をめざす学生のみならず、それ以外の進路をめざす学生も就職支援室（分室）を活用している状況が見られた。今後とも、全学で適切な教職指導を行っていただきたい。
- 図書館で、学部生を対象に、大学院生をメンターとして活用する制度が見られた。今後は全学の教職支援についても、教職大学院などの実務経験のある大学院生をメンターとして活用することなどを期待する。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 教育学部では、「教科又は教職に関する科目」のうち、選択科目ではあるが、「学校教育実地体験実習」を開講しており、学生の希望に合わせて学校現場体験を行うことができることが確認された。
今後、他学部についても、教職に関心のある学生が、早い段階から学校におけるボランティア活動等を通じて、教職の魅力や教員としての適性等を把握した上で、教員免許状の取得を目指すことは重要であることから、今後、学生が教育実習以外にも学校現場等での体験機会を得ることができるよう、全学的により一層教育委員会・学校との連携・協働に努めていただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 図書館については、学生が本に親しむための積極的な取組みを多数行っていることが確認できた。ただし、教職に関する図書について、冊数は十分だと思われるが、教育学部内の図書室等とも連携しながら、他学部も含め教職をめざす学生が利用しやすい教職関連図書の配置のあり方を検討すること。
- 技術棟について、設備等は充実しているように見えるものの、設置スペースが少ないように思われる。他にスペースを確保するなどして、学生の安全には十分留意していただきたい。

7. その他特記事項

- 教職アドバイザーとの面談について、教育学部の全ての学生と行うことは、学生の進路選択においても重要な役割を果たすことから、今後とも続けていただきたい。
- 教育実習の評価について、学生個人のみならず、大学の授業評価やカリキュラムの構成、教育実習参加要件にフィードバックすることも御検討いただきたい。